

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 803	NEW CROWN English Series 2		

1. 編修の基本方針

① 理念・目標

本書の編修にあたっては、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を、それぞれの学校段階に応じて育成することを教育理念とし、それを実現するための目標として、4つの力を育成することを目指しました。

1 ことばを使う力を育てる

ことばを使って理解し、表現し、伝え合いながら、実際のコミュニケーションで活用できる確かな英語力を育成します。

2 他(人や文化)とかかわる力を育てる

さまざまな人や文化などに触れながら、社会の多様性を理解しかかわっていく力と、豊かな心を育成します。

3 考える力を育てる

さまざまな活動を通して、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図る力と、論理的・批判的に考える力を育成します。

4 学びに向かう力を育てる

多様な学び方を体験しながら、学ぶことを楽しむ心と、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。

② 編修方針

教育基本法に掲げる目標を達成するために、5つの基本方針に基づいて編修しました。

1 小学校での学びを生かして、中学校での学びにスムーズに接続する

小学校英語の教科化に伴う小学校での体験をふまえ、円滑に中学校での学びへとつなぐレッスン構成

2 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を育成する

言語材料を身につける GET と、それらを活用して言語活動に取り組む USE を配置したレッスン構成

3 5領域のバランスに配慮し、対話的な学びや深い学びを引き出す言語活動を充実させる

小学校英語の教科化と、中学校英語で取り扱う言語材料の増加に対応し、高度化された言語活動

4 生徒の知的欲求にこたえる題材、人間教育に資する題材を選定する

生徒の知的好奇心や興味・関心、発達段階に合った題材やテーマ、多様な文化などに触れる題材

5 生徒の主体的な学びを支援し、学びに向かう力を育てる資料の充実をはかる

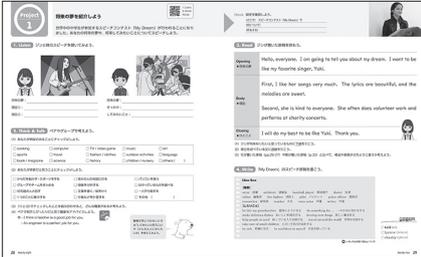
自律的な学習をサポートする資料やQRコード、CAN-DOリストなどを配置

構成と内容 2年

Project 1

将来の夢を紹介しよう

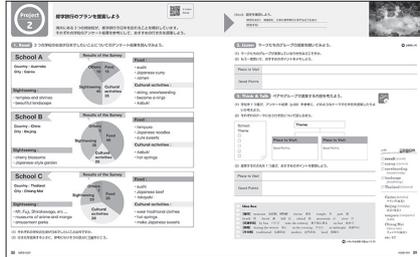
将来してみたいことや、将来つきたい職業について、気持ちや考えを整理して、まとまりのある内容を発表する。



Project 2

修学旅行のプランを提案しよう

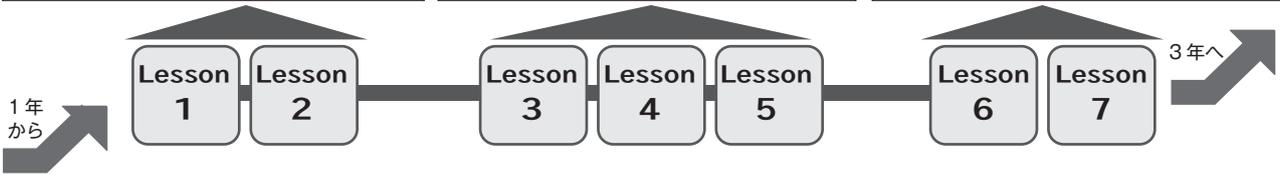
海外の3つの学校のアンケート結果を読んで、日本に修学旅行に来るなら、どこに行ったらよいか提案する。



Project 3

ディスカッションをしよう

町で行われるイベントのテーマについて書かれた意見を読んで、考えたことや感じたことを話し合い、テーマを決める。



1 小中の学びをスムーズに接続するレッスン構成

[1年Lesson 1~3のみ]

例 1年 Lesson 1

Part 1 ①

聞いてみよう・話してみよう

聞いてみようでは、小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞いて、これまでの学びをふり返ります。

話してみようでは、聞いてみようでふり返ったことをふまえて、ペアやグループで対話したり発表したりします。

Part 1 ②

POINT・Drill

POINTでは、Part 1 ①で聞いたり話したりした英文を取り出し、文字で確認しながら、文法事項や文構造を整理します。

Drillでは、POINTの文を活用して、音声で聞いたり、音声に続けてくり返したり、絵と語句を参考に英文を言ったりして練習します。

Part 1 ③

Read・Write

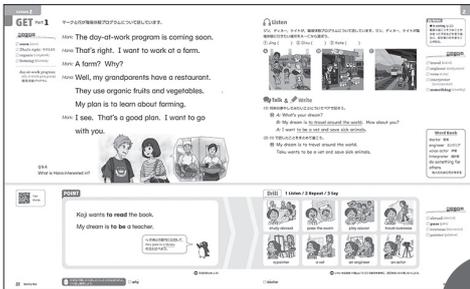
Readでは、Part 1 ②で整理したPOINTの文と新しい語句を含む、まとまりのある初見の英文を読みます。

Writeでは、POINTの文を短い文脈の中で活用し、まとまりのある英文を書きます。

2 習得から活用へとつながるレッスン構成と言語活動

例 Lesson 2

GET



USE



USE Read

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある英文の概要や要点を捉える力を養います。

USE Speak / Write

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、まとまりのある内容を話したり書いたりする力を養います。

GETでは、文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につけます。

3 充実した言語活動

Take Action! Listen

現実の使用場面に近い英文を聞き、目的や場面、状況に応じて、必要な情報や概要、要点を捉える力を養います。

Take Action! Talk

言語の使用場面や働きを整理し、目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合う力を養います。

Sounds (Listen, Talk ページ下)

つづりと音の関係、韻律や音変化など、英語の音声について、発見型アプローチで学びます。

Reading for Fun

世界中で読まれている文学作品を、登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読みます。

Reading for Information

現実の使用場面に近い英文を読み、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を読み取る力を養います。

Project

領域統合型の活動を3回設定。それまでに培った知識と技能を活用して、表現したり伝え合ったりする力を養います。

GET Plus

提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。

文法のまとめ

学んだ文法事項をまとめてふり返ったり、関連する文法事項を横断的に整理したりします。

[付録] What Can I Do?

1年間の学習を通して、どんなことができるようになったかを自己評価し、学習をふり返ります。

4 題材

ことばを使う ことは思いを伝えること

Lesson 1



Peter Rabbit

Lesson 7



Rakugo Goes Overseas

かかわる ことは違いを認め合うこと

Lesson 5



Things to Do in Japan

Further Reading 1



Houses and Lives

考える ことは自分と向き合うこと

Lesson 2



My Dream

Lesson 4



Uluru

学ぶ ことは自分の可能性を広げること

Lesson 3



Every Drop Counts

Lesson 6



Tea from China

5 自律的な学習を支援する資料の充実

For Self-study

辞書の活用など、英語学習の参考になる情報を提供します。

ロールプレイシート

Take Action! Talk に対応したロールプレイの指示書。指示にしたがってペアで即興のやり取りする活動をします。

いろいろな単語

言語活動で使える語句・表現を、カテゴリーごとに提示しています。

スクリプト

Take Action! Listen の音声のスクリプト。文字を見ながら、音声をくり返して聞いて復習します。

QRコード

本文テキスト、語句・表現、話すこと[やり取り/発表]の活動のモデル英文などの音声や動画を提供します。



2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (2年)
題材	①取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択しました。(第1号)	Starter This Month's Books Lesson 5 Things to Do in Japan
	②物語では、生徒の感性に訴える作品を配置しました。(第1号)	Lesson 1 Peter Rabbit Reading for Fun 1 A Pot of Poison Reading for Fun 2 The Little Prince
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱いました。(第2号)	Lesson 2 My Dream Further Reading 2 Courage
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱いました。(第3号)	Lesson 4 Uluru Further Reading 1 Houses and Lives
	⑤自然科学、環境を扱いました。(第4号)	Lesson 3 Every Drop Counts
	⑥日本の伝統文化、および他国の文化を扱いました。(第5号)	Lesson 6 Tea from China Lesson 7 Rakugo Goes Overseas Further Listening English Rakugo
言語活動	①各課の言語活動においては、取り組む生徒の個性・創造性・自主性が発揮されるように配慮しました。(第2号)	USE Write (pp.58-59, 80-81, 98-99) 行ってみたい国についてエッセイを書こう 人気のあるものを調べてレポートを書こう お礼のカードを書こう USE Speak (p.112) 先生にインタビューしよう
	②言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱いました。(第2号, 第4号, 第5号)	USE Speak (p.14) 物語を朗読しよう Project 1 (pp.28-31) 将来の夢を紹介しよう USE Write (p.113) メンバー募集のポスターを作ろう
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮しました。(第3号)	USE Speak (p.46) グループで話し合おう Project 2, 3 (pp.88-90, 118-121) 修学旅行のプランを提案しよう ディスカッションをしよう GET Plus p. 18, 34, 48, 62, 84, 102 Take Action! Talk p. 17, 33, 61, 83, 101, 115 付録 pp.47-48 ロールプレイシート
付録	生徒の自律的な学びを支える付録を配置しました。(第2号)	For Self-study (単語を覚えようなど) QRコード (本文テキスト, 新出語句) 付録 (付録 pp.2-50, 後①) 英語の歌, つづりと発音, 基本本文のまとめ, いろいろな単語, 不規則動詞活用表, 形容詞・副詞比較変化表, 数の表現と数字の読み方, 単語の意味, 会話表現, ロールプレイシート, スクリプト, What Can I Do?
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。(第3号, 第5号)	全課を通して登場するメインキャラクター, それぞれの活動の登場人物
構成	教科書の使い方, 学ぶ目標, 学ぶプロセス, 学ぶポイントなどが、生徒にわかりやすく提示され, 学ぶ意欲を喚起し, 自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。(第2号)	レッスンとびら, レッスン構成 (GET→USE), 文法のまとめ, For Self-study (p.38, 70), What Can I Do? (後①)

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

◎ カラーユニバーサルデザインへの配慮

- ▶ カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。

◎ 特別支援教育への配慮

- ▶ 特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な生徒への配慮と対応をしています。

◎ 学習上の配慮

- ▶ 基本的に見開き構成とし、学習する内容が一目でわかるようにしました。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、学習に集中できるように配慮しました。
- ▶ 教科書に登場する人物は、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。
- ▶ 音声を用いて自律的に学習できるよう、音声を提供する QR コードを配置しました。
- ▶ 1 年前半の書くためのモデルとなる英文には、オリジナルの手書きフォントを使用しました。また、それ以外の部分でも、ユニバーサルデザインフォントやオリジナルのブロック体フォントを使用し、視認性や可読性が高まるよう配慮しました。

②環境にやさしい教科書づくり

- ▶ 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- ▶ インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 803	NEW CROWN English Series 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 小学校での学びを復習しながら、円滑に中学校での学びにつなげられるようにしました。

(1年 Lesson 1~3)

例 1年 Lesson 1

Part 1 ① 聞いてみよう・話してみよう

小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞いて、これまでの学びをふり返ったり、ふり返ったことを踏まえて、ペアやグループで対話したり、発表したりします。

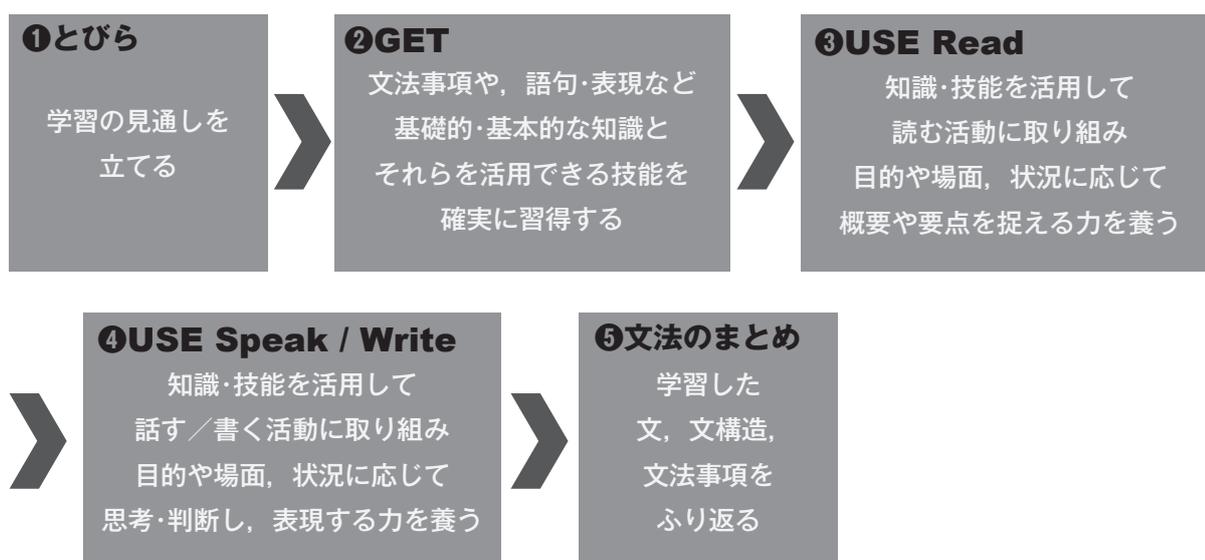
Part 1 ② POINT・Drill

Part 1 ①で聞いたり話したりした英文を取り出し、POINTで文や文構造を整理したり、POINTの文を活用して、提示された絵と語句を参考にDrillでくり返し練習します。

Part 1 ③ Read・Write

Part 1 ②で整理したPOINTの文と新しい語句を含む、まとまりのある英文を読んだり、POINTの文を短い文脈の中で活用し、まとまりのある英文を書いたりする練習をします。

2 学びのプロセスを「見える化」し、学習の流れがわかりやすいレッスン構成にしました。

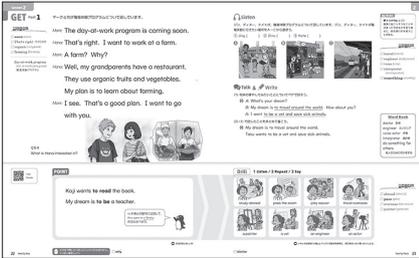


3 基礎的・基本的な知識・技能を習得するページを適切に配置・配列しました。

聞く・読む・話す[やり取り]・話す[発表]・書く

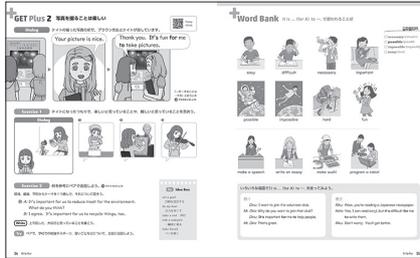
GET

文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につけます。



GET Plus

提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。



文法のまとめ

学んだ文法事項をまとめてふり返ったり、関連する文法事項を横断的に整理したりします。



4 5領域のバランスに配慮し、思考力・判断力・表現力を養う言語活動を充実させました。

Take Action! Listen **聞く**

現実の使用場面に近い音声聞いて、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を聞き取ったり、音声の概要や要点を捉えたりする力を養います。

USE Read **読む**

既習の文法事項を活用して、さまざまなジャンル/テキストタイプの英文を読み、目的や場面、状況に応じて、英文の概要や要点を捉える力を養います。

Reading for Information **読む**

現実の使用場面に近い英文を読んで、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を読み取る力を養います。

Take Action! Talk **話す[やり取り]**

言語の使用場面や働きを整理し、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合う力を養います。

USE Speak **話す[発表]**

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理し、即興で話したり、まとまりのある内容を話したりする力を養います。

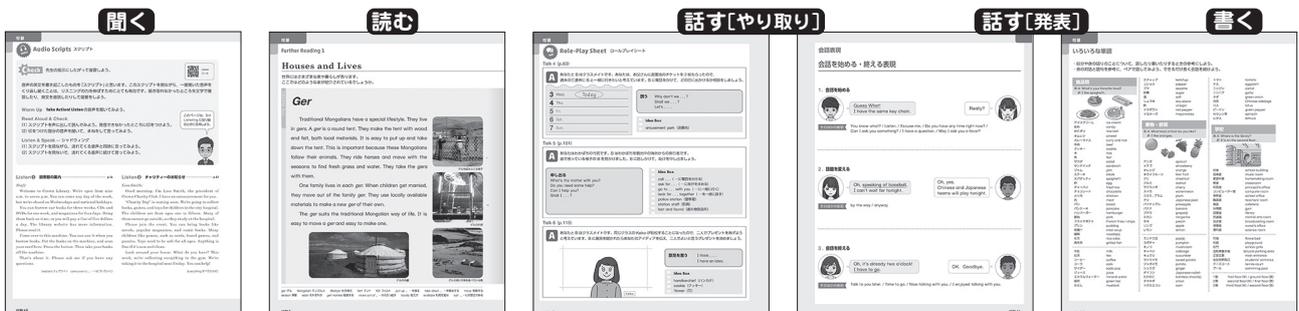
USE Write **書く**

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、正確に書いたり、自分の考えや気持ちなどを整理してまとまりのある内容を書いたりする力を養います。

Project **領域統合(聞く・読む・話す・書く)**

領域統合型の活動を通して、目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合ったり、自分の考えや気持ちなどを整理して話したり、書いたりする力を養います。
聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを述べ合ったり、話したり、書いたりする力を養います。

[付録]



文字を見ながら Listen の復習ができる、音声スクリプト。

読みを深め、読む力を強化するための補充の読み物。

即興でのやり取りを練習するロールプレイシート。

やり取りの活動に使える会話表現。ことばの働きごとに提示。

話す/書く活動に使えるいろいろな単語。カテゴリーごとに提示。

2. 対照表（配置や配列、配当時数の詳細は、別記カリキュラム表参照）

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容
音声・文字	<p>○Take Action! Listen / Talk</p> <p>▶Sounds 英語のつづり・英語らしい音：単音レベルの発音とつづりの関係を考える活動です。</p> <p>▶Sounds 英語のひびき：韻律や音変化など、滑らかでリズムカルな音を意識させる活動です。</p> <p>○付録 Sounds つづりと発音：発音とつづりの関係を表にまとめてあります。</p> <p>※小学校で学んだ音声は、1年（Lesson 1～3の♪の部分）で復習として取り扱っています。</p> <p>※小学校で学んだ文字は、1年（Starter及びLesson 1～3）で復習として取り扱っています。</p>	(1) ア (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
符号	<p>主な符号は英文内で適切に取り扱い、初出箇所では側注 Notes に解説を加えています。</p> <p>※小学校で学んだ符号は、英文内で適切に取り扱っています。</p>	(1) イ
語、連語及び慣用表現	<p>○全課 Words：本文中に出てくる、中学校で新出の語句・表現を提示しています。</p> <p>○Starter(1年)：小学校で学んだ語句・表現を使って、聞いたり、話したりします。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶Drill：POINTの文法事項などを使って、ドリル練習をするための語句を提示しています。</p> <p>▶Word Bank：POINTの文法事項などを使って、Talk / Speak / Writeの短い文脈の中で話したり、書いたりする練習をするときに使える語句・表現を提示しています。</p> <p>○GET Plus</p> <p>▶Word Bank：Exerciseの話す活動をするときに、使える語句・表現を提示しています。</p> <p>○Take Action! Listen / Talk</p> <p>▶Expressions：聞いたり話したりするときのポイントになる語句・表現を提示しています。</p> <p>○付録 いろいろな単語、会話表現：いろいろな活動の中で使える語句・表現をカテゴリーで分けて提示しています。</p> <p>○付録 単語の意味：本課中に出てきた語句・表現を、辞書の要領でまとめて提示しています。</p> <p>※小学校で学んだ語句・表現は、英文内で適切に取り扱っています。</p> <p>※小学校で学んだ語は1年付録「いろいろな単語」に☆印をつけて示しています。また、特に大切なものは、英文内で取り扱い脚注に示しています。</p>	(1) ウ (ウ)(イ)(ウ)
文、文構造及び文法事項	<p>○Lesson POINT：各レッスンに配当された文法事項を含むターゲット文を提示しています。</p> <p>○文法のまとめ：各レッスンで学んだ文法事項などをわかりやすく解説しています。また、関連する文法事項を横断的に整理するコーナーを配置しています。</p> <p>○GET Plus Dialog：会話の場面とよく使われる表現を併せて提示しています。</p> <p>○付録 基本文のまとめ：本課中に出てきたPOINT文などをまとめて提示しています。</p> <p>※小学校で体験した文及び文構造のうち特に大切なものは、1年Lesson 1～3でいねいに取り扱っています。また、それ以外のものは、英文内で適切に取り扱っています。</p>	(1) エ (ア)(イ)(ウ)
言語活動① (聞く・読む)	<p>○Lesson USE Read：既習の文法事項を活用して、現実の使用場面に近い英文を読み、目的や場面、状況に応じて、概要や要点を捉える活動です。</p> <p>○Take Action! Listen：現実の使用場面に近い英文を聞き、目的や場面、状況に応じて、必要な情報を聞き取ったり、概要や要点を捉えたりする活動です。</p> <p>○Reading for Fun：物語の登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読む文学教材です。</p> <p>○Reading for Information：現実の使用場面に近い英文を読み、必要な情報を読み取る活動です。</p> <p>○付録 Further Reading：補充・発展的な読む活動などに選んで使える教材です。</p>	(2) ア
言語活動② (話す・書く)	<p>○Lesson</p> <p>▶USE Speak：目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して話す活動です。</p> <p>▶USE Write：目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して書く活動です。</p> <p>○Take Action! Talk：目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合う活動です。</p>	(2) ウ
言語活動③ (領域統合型)	<p>○Project：領域統合的に、話したことを参考に書いたり、書いたことをもとに発表したりする活動と、聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考えなどを整理して、話したり書いたりする活動です。</p>	(2) イ

	図書の構成・内容	学習指導要領 の内容
聞くこと	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶聞いてみよう (1年 Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>▶GET Listen：日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>○Take Action! Listen：日常的または社会的な話題について、現実に近い場面で話される英文を聞く活動。</p> <p>テキストタイプ：商品の説明、競技会場のアナウンス、映画の紹介、ボイスメッセージ、インタビュー、天気予報など</p> <p>○付録 スクリプト：Take Action! Listen の音声スクリプト。</p>	(3) ① ア イ (ア)(イ)(ウ)(エ)
読むこと	<p>○Starter(2,3年)：既習の文法事項を活用して、日常的または社会的な話題について書かれた、現実の使用場面に近い英文を読む活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶Read (1年 Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を読む活動。</p> <p>▶GET 本文：日常的または社会的な話題についての短い英文を読む活動。</p> <p>▶USE Read：既習の文法事項を活用して、日常的または社会的な話題について書かれた、現実の使用場面に近い英文を読む活動。</p> <p>ジャンル：説明文、意見文、物語文 テキストタイプ：新聞記事、メール、ブログ記事、雑誌記事、パンフレットの記事など</p>	(3) ① ア ウ (ア)(イ)(ウ)(エ)
話すこと [やり取り]	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って伝え合う活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶話してみよう (1年 Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って伝え合う活動。</p> <p>▶GET Talk：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って伝え合う活動。</p> <p>○Project：聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを伝え合う活動。</p> <p>○GET Plus Dialog：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って伝え合う活動。</p> <p>○Take Action! Talk：提示された場面で、即興で伝え合う活動。</p> <p>テキストタイプ：チャット、目的を達成するためのやり取り、日常会話での簡単な話し合い</p> <p>○付録 ロールプレイスシート：提示された場面で、即興で伝え合う活動。</p>	(3) ① ア エ (ア)(イ)(ウ)
話すこと [発表]	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って話す活動。</p> <p>○Lesson</p> <p>▶話してみよう (1年 Lesson 1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って話す活動。</p> <p>▶GET Speak：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って話す活動。</p> <p>▶USE Speak：既習の文法事項を活用して、簡単な語句や文を使って、日常的または社会的な話題について、まとまりのある内容を話す活動。</p> <p>テキストタイプ：サイコロトーク、スピーチ、プレゼンテーションなど</p> <p>○Project：聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを話す活動。</p>	(3) ① ア オ (ア)(イ)(ウ)
書くこと	<p>○Lesson</p> <p>▶Write (1年 Lesson 1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って書く活動。</p> <p>▶GET Write：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って書く活動。</p> <p>▶USE Write：既習の文法事項を活用して、簡単な語句や文を使って、日常的または社会的な話題について、まとまりのある文章を書く活動。</p> <p>テキストタイプ：申込書、メール、絵日記、マニフェストなど</p> <p>○Project：日常的または社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを書く活動。</p>	(3) ① ア カ (ア)(イ)(ウ)(エ)
題材・場面	<p>○Lesson：イギリスの児童文学ピーターラビット、職場体験と将来の夢 My Dream、空気から水をつくるワルカ・ウォーター・プロジェクト、ウルルと先住民、海外からの旅行者が日本で体験したいこと、中国の文化(剪纸とお茶)、英語落語</p> <p>○GET Plus Dialog：お店での会話、学校での会話、自然公園での会話、放課後の会話、文化祭での会話、授業中での会話</p> <p>○Take Action! Listen：図書館の利用案内、チャリティーのお知らせ、空港のアナウンス、遊園地のイベント紹介、ラジオニュース、プレゼントの相談</p> <p>○Take Action! Talk：休みの予定についての会話、簡単な話し合い、夏休みのできごとについての会話、電話での会話、困っている人との会話、簡単な話し合い</p>	(3) ② ア (ア)(イ) イ (ア)(イ)(ウ)(エ) (オ)

別記 カリキュラム表 (2年)

新出単語数(617),年間配当時間(103)

レッスンタイトル ●題材・場面/ □ 文の種別	■ 文、文構造、文法事項/ △ 音声/☆ 語彙	領域					主な活動の内容	主な言語活動の領域					▲ 言語の使用場面/ ○ 言語の働き	配当 時間	
		L	R	S や	S 発	W		L	R	S や	S 発	W			
Starter This Month's Books □ 説明文を読む							【説明文】おすすめ本の本の紹介文を読む								2
Lesson 1 Peter Rabbit ● イギリス文学、ピーターラビット □ ・接続詞 (when, if, that) ・物文文: 概要をとらえる ・朗読する	■ GET 1 When my mother came ... / If it is clear ... ■ GET 2 I think (that) ... [Read: because ...]						USE Read 【物語文】 ブランク先生がおすすめする『ピーターラビットのおはなし』を読んで、その概要を把握する USE Speak 【朗読】 『ピーターラビットのおはなし』を、場面や登場人物の気持ちが変わるように朗読する								8
Listen 1 図書館の案内 □ 必要な情報を聞き取る	△ Sounds ph - ck						Listen 【案内】 図書館の利用案内を聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る								1
Talk 1 どんなストーリーなの? □ 即興で伝え合う	△ Sounds 内容語と機能語						Talk 【チャット】 週末の予定について対話する								1
Plus 1 試着してもいいですか □ May I...? の表現を使う	■ May I...? ☆WB いろいろな動作	[O]													1
文法のまとめ 1 接続詞 when など															1
Lesson 2 My Dream ● 自分の将来像、将来の夢 □ ・to不定詞 ・意見文: 要点をとらえる	■ GET 1 Koji wants to read ... / My dream is to be ... ■ GET 2 Tom went to ... to play ... / something to eat ...						USE Read 【意見文】 コンテストで賞をとったスピーチの原稿を読んで、その要点を把握する								6
Project 1 将来の夢を紹介しよう □ 将来の夢について、気持ちや考えを整理し、まとめる内容を読み取る							将来の夢や、将来したいことについて、原稿を書いて、スピーチする								4
Listen 2 チャリティーのお知らせ □ 要点をとらえる	△ Sounds 子音結合 (二文字)						Listen 【説明】 チャリティについての説明を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る								1
Talk 2 それはいい家だね □ 事実や考えを整理して伝え合う	△ Sounds 脱落						Talk 【話し合い】 ボランティア活動や遠足の行き先について話し合う								1
Plus 2 写真を撮ることは楽しい □ It is ... (for A) to ... の表現を使う	■ It is ... (for A) to ... ☆WB It is ... (for A) to ... でよく使われることば	[O]													1
文法のまとめ 2 to不定詞 など															1
Information 1 施設の利用案内 □ 必要な情報を読み取る							クォーターパークの利用案内を読んで、自分が必要とする情報を読み取る								1
Lesson 3 Every Drop Counts ● 自然科学、社会貢献活動 □ ・There is [are] ... や動名詞 ・説明文: 概要をとらえる ・話し合い: 即興で伝え合う/スピーチ: 即興で発表する	■ GET 1 There is [are] ... / Is there ... ? ■ GET 2 I like playing ... / Playing soccer is ...						USE Read 【説明文】 フルク・ウォータープロジェクトの紹介記事を読んで、その概要を把握する USE Speak 【話し合い】/USE Speak 【スピーチ】 イベントでどんな出し物をするか即興で話し合う/マイクロを使って即興で町紹介のスピーチをする								8
Plus 3 魚釣りをしてはいけません □ must / must not の表現を使う	■ must / must not ☆WB 公衆や図書館、交通のルールに関することば	[O]													1
文法のまとめ 3 There is [are] ... / 動名詞 など															1
Lesson 4 Uruu ● オーストラリア、地域の文化 □ ・動詞 (give, call など) + A + B ・意見文: 要点をとらえる ・エッセイ: まとめる内容を書く	■ GET 1 I will give him a wallet. ■ GET 2 We call him Tom. / It makes me happy.						USE Read 【意見文】 ウルムについて書かれたガイドブックのコラムを読んで、その要点を把握する USE Write 【エッセイ】 行ってみたい国について、理由などを添えてエッセイを書く								8
Listen 3 空港のアナウンス □ 必要な情報を聞き取る	△ Sounds 子音結合 (三文字)						Listen 【アナウンス】 空港でのアナウンスを聞いて、自分が必要とする情報を聞き取る								1
Talk 3 何が起きたの? □ 即興で伝え合う	△ Sounds 同化・結合						Talk 【チャット】 夏休みのできごとについて対話する								1
Plus 4 宿題をしなればなりません □ have to / don't have to の表現を使う	■ have to / don't have to ☆WB いろいろな動作	[O]													1
文法のまとめ 4 SVOO / SVOC など															1
Information 2 レストランのメニュー □ 必要な情報を読み取る							レストランのメニューを読んで、自分が必要とする情報を読み取る								1
Fun 1 A Pot of Poison □ 物語文を楽しむ							【物語文】狂言の「附子」を原作にした物語を楽しむながら読む								3
Lesson 5 Things to Do in Japan ● 旅行・観光、異文化体験 □ ・形容詞や副詞の比較級、最上級 ・説明文: 要点をとらえる ・レポート: まとめる内容を書く	■ GET 1 longer than ... / the longest in ... ■ GET 2 more popular than ... / the most popular of ... ■ GET 3 as cute as ... / walk faster than ...						USE Read 【説明文】 ニューズランドの姉妹校の先生から届いたメールを読んで、その要点を把握する USE Write 【レポート】 日本の中学生に人気のあるものを調べて、その結果をまとめたレポートを書く								10
Listen 4 イベントの紹介 □ 要点をとらえる	△ Sounds 連続する母音						Listen 【説明】 ラジオから流れるイベント情報について、話し手が伝えたいことを聞き取る								1
Talk 4 一緒に遊園地に行かない? □ 即興で伝え合う	△ Sounds 脱落・同化・結合のまとめ						Talk 【電話】 電話でいっしょに出かける日について対話する								1
Plus 5 演奏の仕方を教えてください □ how など + to の表現を使う	■ how など + to ☆WB 日本の文化や観光に関することば	[O]													1
文法のまとめ 5 比較 など															1
Information 3 公園の看板 □ 必要な情報を読み取る							公園の看板を読んで、自分が必要とする情報を読み取る								1
Project 2 修学旅行のプランを提案しよう □ 国や地域の説明文を読んで、事実や考えを整理し、まとめる内容を書く							海外の3つの姉妹校のアンケートに結果を読んで、それぞれの学校の文化について、日本でおすすめる修学旅行の行き先を提案する								3
Lesson 6 Tea from China ● 中国、お茶の文化と歴史 □ ・現在完了形(継続) ・説明文: 概要をとらえる ・カード: まとめる内容を書く	■ GET 1 I have lived ... / Miki has lived ... ■ GET 2 Have you lived ...? / How long have you lived ...?						USE Read 【説明文】 ウェブサイトに掲載された中国茶の説明を読んで、その概要を把握する USE Write 【カード】 お話しのおみやげに添えるカードに、お礼のことばとおみやげの説明を書く								8
Listen 5 ラジオニュース □ 概要をとらえる	△ Sounds 二重母音						Listen 【ニュース】 ラジオの臨時ニュースを聞いて、話の全体的な内容を聞き取る								1
Talk 5 お手伝いしましょうか □ 事実や考えを整理して伝え合う	△ Sounds 対比ストレス						Talk 【チャット】 困っていることを伝え、解決策について対話する								1
Plus 6 大きい声で話していただけますか □ Could you ...? の表現を使う	■ Could you ...? ☆WB いろいろな動作	[O]													1
Information 4 オリビエサダのレシピ □ 必要な情報を読み取る							サダのレシピを読んで、自分が必要とする情報を読み取る								1
Lesson 7 Rakugo Goes Overseas ● 日本の伝統文化、英語落語 □ ・現在完了形(完了・経験) ・意見文: 要点をとらえる ・インタビュー: 即興で伝え合う/ポスター: 正確に書く	■ GET 1 I have just finished ... ■ GET 2 Amy has visited ... twice.						USE Read 【意見文】 新聞に掲載された大島希江さんのインタビューを読んで、その要点を把握する USE Speak 【インタビュー】/USE Write 【ポスター】 ALTの先生に即興でインタビューする/行事や活動のメンバーを募集するポスターを正確に書く								8
Listen 6 プレゼントの相談 □ 要点をとらえる	△ Sounds 母音字 + r						Listen 【話し合い】 ホストファミリーの話し合いを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る								1
Talk 6 それもいい案だと思うけど □ 簡単な話し合いをする	△ Sounds (疑問を意味する平仮文・聞き返しの疑問詞疑問文)						Talk 【話し合い】 友だちに何をプレゼントするか話し合う								1
文法のまとめ 6 現在完了形(継続・完了・経験) など															1
Project 3 ディスカッションをしよう □ イベントのテーマについての意見を読んで、考えたことや感じたことを述べ合う							地域で行われるイベントについて、地域の人の意見を読んで、どんなテーマでイベントを行えばよいか話し合う								4
Fun 2 The Little Prince □ 物語文を楽しむ							【物語文】『星の王子さま』の物語を楽しむながら読む								3

Plus: GET Plus / Listen: Take Action! Listen / Talk: Take Action! Talk / Information: Reading for Information / Fun: Reading for Fun / WB: Word Bank